

# 令和 5年度 杉並区施策評価シート I

( 00058 )

施策	23	多様なニーズに応じたきめ細かな教育の推進
目標	07	共に認め合い、みんなでつくる学びのまち
施策担当課	特別支援教育課	関係課 学校整備課、済美教育センター等

施策目標	すべての子どもが、障害や疾病、家庭や学校での状況等にかかわらず、自分の意思と特性・状態に応じて交流したり、共に学び、成長している。すべての子どもが、早期に適切な支援を受け、学校内外において子どもや保護者が安心して相談できる環境が整うとともに、一人ひとりの状況に応じた支援が行われています。家庭・地域・学校・関係機関と行政がそれぞれの役割を果たしながら連携・協働し、すべての子どもが地域社会に支えられながら学び、成長しています。
------	---

活動指標		成果指標	
指標名 ( 1 )	学校生活支援シートの作成件数	指標名 ( 1 )	「一人ひとりの違いに応じた学びができている」と感じている児童・生徒の割合 区立学校の児童・生徒を対象とした質問紙調査による【区民】
算式・指標説明	就学前から成人までの支援情報の引継ぎが行えるよう作成する支援計画の数	算式・指標説明	
指標名 ( 2 )	教育支援チームの訪問回数	指標名 ( 2 )	「一人ひとりの違いに応じた学びができる環境が整っている」と感じている保護者の割合 区立学校に通う児童・生徒の保護者を対象とした質問紙調査による【区民】
算式・指標説明	特別支援教育推進のため、小中学校を巡回訪問した件数	算式・指標説明	
指標名 ( 3 )		指標名 ( 3 )	学校の教育相談体制に対する保護者の肯定率
算式・指標説明		算式・指標説明	区立学校に通う児童・生徒の保護者を対象とした質問紙調査による【区民】
指標名 ( 4 )		指標名 ( 4 )	小中学校における特別支援学級・特別支援学校との交流・共同学習への保護者の肯定率 区立学校に通う児童・生徒の保護者を対象とした質問紙調査による【区民】
算式・指標説明		算式・指標説明	
		指標名 ( 5 )	
		算式・指標説明	
		指標名 ( 6 )	
		算式・指標説明	

区分			単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		目標値	目標年度
				実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績		
活動指標	活動指標（ 1 ）	1	件	1,130	1,150	1,194	1,500	1,313		
	活動指標（ 2 ）	2	回	661	700	673	450	345		
	活動指標（ 3 ）	3								
	活動指標（ 4 ）	4								
成果指標	成果指標（ 1 ）	5	%	57.1	0.0	60.6	55.0	58.7	70.0%	令和12年度
	成果指標（ 2 ）	6	%	85.0	0.0	77.6	85.0	76.8	95.0%	令和12年度
	成果指標（ 3 ）	7	%	0.0	0.0	54.2	50.0	49.9	70.0%	令和12年度
	成果指標（ 4 ）	8	%	70.8	0.0	28.0	70.0	40.3	85.0%	令和12年度
	成果指標（ 5 ）	9								
	成果指標（ 6 ）	10								
施策コスト	事業費	11	千円	179,851	177,624	161,354	258,545	216,645	特記事項	
	人件費	12	千円	371,527	370,509	385,717	461,468	481,541	成果指標1の対象は小中学校、成果指標2の対象は特別支援教室・特別支援学級・特別支援学校	
	総事業費 (11+12)	13	千円	551,378	548,133	547,071	720,013	698,186		
	国・都からの補助金等	14	千円	27,148	29,433	30,372	74,354	75,307		
	総事業費伸び率 ( 計画、実績の対前年度比 )	15	%			0.8	31.4	27.6		
	人件費比率 ( 12 ÷ 13 )	16	%	67.4	67.6	70.5	64.1	69.0		

課題・分析	<p>令和元年度に全区立小中学校へ特別支援教室が設置され、各校の特別支援教育を大きく推進することができました。今後は児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導を充実させるため、巡回指導教員と在籍学級教員の連携を強化するとともに、増員の検討を行う必要があります。すなわち、教育相談については、コロナ禍において、感染症対策を行い相談時間や相談方法を工夫した上で来所相談やスクールソーシャルワーカーの訪問を実施しましたが、ふれあいフレンドの派遣はやむを得ず縮小となりました。また、不登校児童・生徒の社会的自立に向け、さざんかステップアップ教室におけるICTの活用や個別の相談支援等を強化し、いかに多様な学びの場を作っていくかが重要となります。</p>
施策の成果	<p>学校では、特別な支援を要する児童・生徒に対して、保護者が入学前に作成した就学相談票などを参考に、一人ひとりの違いに応じた個別の支援を行っています。</p> <p>今後は、個別の支援にとどまらず、周囲の障害理解を含めた取組をより一層進め、更なる学びの充実を図る必要があります。その視点を踏まえ、令和4年5月に杉並区特別支援教育推進計画（令和4～6年度）を策定しました。今後は計画に基づき、特別支援教育を着実に推進して参ります。また、教育環境整備について、済美養護学校中学部の済美教育センターへの移転増改築計画及び高井戸東小学校への特別支援学級の設置計画について、着実に進めることができました。</p> <p>教育相談では、児童・生徒それぞれの状況に応じて教育相談員、スクールカウンセラーによる心理的支援とともに、スクールソーシャルワーカーを活用し、学校や関係機関と連携して支援を行いました。また、不登校児童・生徒はさざんかステップアップ教室や地域の居場所等につなぎ、社会的自立に向けた支援を行いました。</p>
改善・見直しの方向 中長期	<p>今後の施策の方向性</p> <p>拡充</p>
	<p>「杉並区教育ビジョン2022」に掲げる「学びを通して誰一人取り残されない社会を実現するための条件と環境を整える」ことを今後も施策の方向性の一つとして、取組みを進めていきます。</p> <p>令和4年度に小学校12校に配置した「個別の学び支援システム」は、令和5年度には小学校24校に配置し、令和6年度は小学校全校に配置予定としており、特別支援教室の巡回指導教員の専門性向上のみならず、通常の学級の教員にも支援が必要な児童への指導に活用されています。また、通常学級支援員は今後順次配置数を拡充し、支援が必要な児童・生徒を支えています。</p> <p>ハード面においては、令和6年度に高井戸東小学校に新たに特別支援学級を開設し、区の南西部における児童の通学の負担軽減を図るとともに増加している特別支援学級の教育環境を向上させます。さらに、令和7年9月には済美養護学校中学部を済美教育センターの増改築により移転し、教育環境の整備を図ります。</p> <p>教育相談では、多様化する相談ニーズに対する的確な対応が可能となるような体制作りを努め、教育相談機能を強化していきます。また、不登校児童生徒の支援として、さざんかステップアップ教室の充実を図るとともに、新たな学びの場として不登校特例校の設置を検討していきます。</p>

令和 5年度 杉並区施策評価シートⅡ（施策を構成する事務事業）

【施策 23】【施策名称 多様なニーズに応じたきめ細かな教育の推進】 金額の単位は千円 ( 00058 )

整理番号	事務事業名称	実行計画事業	主要事業	令和 4年度 事業費	人件費	総事業費	施策から見た 事業の方向性
1 447	杉並区教育委員会の運営			14,862	58,318	73,180	現状維持
2 456	特別支援教育			144,863	141,619	286,482	推進（拡充）
3 461	特別支援学級・学校の環境整備			23,142	65,976	89,118	推進（拡充）
4 469	教育相談等運営			15,153	200,529	215,682	推進（拡充）
5 475	いじめ対策の充実			513	3,743	4,256	推進（拡充）
6 478	済美教育センター環境整備			13,921	9,150	23,071	推進（拡充）
7 484	小学校障害児就学奨励			2,129	1,103	3,232	現状維持
8 496	中学校障害児就学奨励			2,062	1,103	3,165	現状維持
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
合計				216,645	481,541	698,186	

施策を構成する 事務事業に関する特記事項	
-------------------------	--